

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	20 - 研 - 1
-----------------	------------

平成 20 年度配分 研究成果の概要

研究名	地域デザイン振興の新展開に係る動向調査(その2)				
配分を受けた 特別研究費	デザイン研究科長 特別研究費 600 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名 (研究科名)	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	生産造形学科	教授	黒田 宏治	
共同 研究 者					
発表の方法 (予定で可)	1 紀要(静岡文化芸術大学研究紀要)		号数	第 10 号 (2010年 3月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名: 芸術工学会2008春期大会(高岡)		発表日	平成 20 年 6 月 14 日	
	3 その他 発表の方法:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

※本研究は、平成19年度実施の「地域デザイン振興の新展開に係る動向調査」と一連の研究として実施された。

(研究の目的等)

近年では旧来型の地域のデザイン振興行政(地場産業型)は総じて縮小傾向である一方、新たな産業価値・文化価値の創出・発信をめざすデザイン都市構想や新たな担い手・連携を切り口にデザイン導入に成果も期待されるなど、次なるデザインを巡っての地域の胎動も予感されるところがある。この研究では、昨年度(H19年度)研究に引き続き、地域デザイン振興の新展開や可能性についての情報収集・考察を行うなかで、同テーマ領域における研究情報交流・発信を行い、また新たな地域デザイン領域の開拓に資すること目的とした。

※ 本研究は、平成19年度実施の「地域デザイン振興の新展開に係る動向調査」と一連の研究として実施された。

(研究の実施方法等)

(1) デザイン都市構想のケーススタディー

(2) デザイン参加型村おこしのケーススタディー

・デザイン都市関連(2008 ユネスコ認定の神戸市、名古屋市など)、デザイン参加型村おこし(馬路村 MONACCA、岡崎市 DDR,JAPANブランド関連等)などの情報収集(主に文献等調査)を行うとともに、関係学会研究会等(芸術工学会)において情報交流、積極的討議参加を行った。

(3) 地域デザインの新モデルの計画・事業構造、展開課題の考察・検討

・地域福祉NPOとの連携の機会を得て、浜松市東区を対象に「高齢者福祉地域資源実態調査」(H19年度)、「地域資源ネットワーク調査」(H20年度)に参加するとともに、市民共同型の研究会を組織し、地域福祉のデザインに向けての地域診断調査等に着手した。

(得られた成果等)

(1) 地域デザインのケーススタディー、情報交流を通じて情報蓄積が図られたが、関係講義の基礎資料として活用することができた。また、芸術工学会セッション討議(2008年・高岡市)の場では、伝統産業とデザインの関連にも焦点があてられるなかで、制作物だけでなく、時間やプロセス、作り手と使い手のインタラクションにも議論の主軸が割かれるなど、新たな地域デザイン振興への研究課題への示唆も得られた。また、情報発信も行えた。

(2) 地域福祉NPOとの連携研究を通じて、地域デザインの新たなテーマ領域の開拓、市民共同型の研究推進ネットワークづくりを行うことができた。また、関係研究へ参加、地域診断調査の実施などを通じて、これからの地域福祉デザインへの導入的課題が明らかにされた。引き続き、地域福祉デザイン分野の連携型研究を進めていく予定である。